

第4次七尾市地球温暖化対策実行計画（2022年度 温室効果ガス排出量結果報告）

計画期間：2019年度～2030年度（基準年度 2013年度）

計画目標：温室効果ガス排出量を2030年度までに基準年度比で 40% 削減

対象温室効果ガス：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン(HFC)

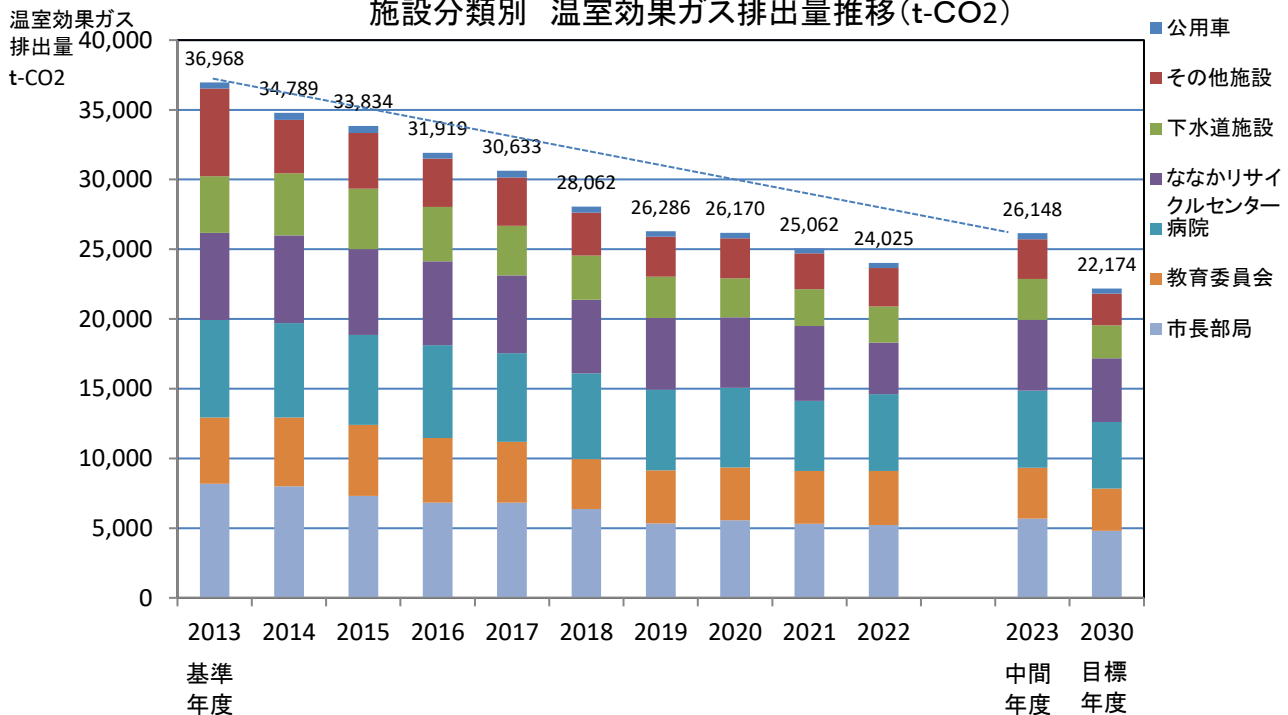
① 施設分類別温室効果ガス排出量

2021年度 施設分類別温室効果ガス排出量(t-CO2)

		基準年度		中間目標年度		目標年度		
		2013年度	2021年度	2023年度	2030年度	基準年度比(%)	基準年度比(%)	
事務系	市長部局	8,185	5,214	5,676	4,799	△ 36.3	△ 41	
	教育委員会	4,742	3,881	3,663	3,047	△ 18.2	△ 36	
事業系	能登総合病院	7,004	5,517	5,532	4,759	△ 21.2	△ 32	
	ななかりサイクルセンター	6,241	3,686	5,052	4,569	△ 40.9	△ 27	
	下水道施設	4,069	2,590	2,943	2,381	△ 36.3	△ 41	
	その他	水道施設	3,740	1,749	1,877	1,459	△ 53.2	△ 61
		ななかりクリーンセンター	2,098	656	610	503	△ 68.7	△ 76
		ななかり中央埋立場						
		ななかり斎場						
	消防施設							
	小計	23,602	14,548	16,378	13,972	△ 38.4	△ 41	
	公用車	439	382	431	356	△ 13.0	△ 19	
計	36,968	24,025	26,148	22,174	△ 35.0	△ 40		
水道使用量(千㎡)		351	273	316	291	△ 22.2	△ 17	

2022年度の七尾市事務事業全体の温室効果ガス排出量は **24,025t-CO2**、基準年度比 **△35.0%**でした。
 ※なお、前年度に比べ、△2.8ポイントでした。(2021年度 25,062t-CO2)

施設分類別 温室効果ガス排出量推移(t-CO2)



② エネルギー起源別排出量

起源別の内訳をみると、エネルギー起源CO₂ 23,627t-CO₂、非エネルギー起源CO₂ 398t-CO₂(非エネルギー起源CO₂の内訳:下水処理に伴うCO₂ 386t-CO₂、公用車運転に伴うCO₂ 12t-CO₂)でした。

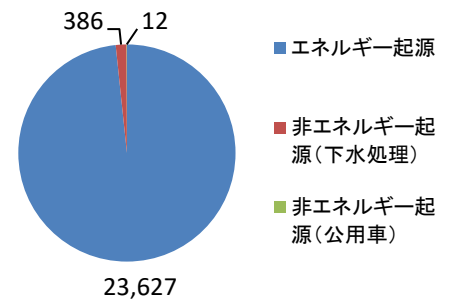
エネルギー起源別温室効果ガス排出量(t-CO₂)

	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	割合(%)
	基準年度				
エネルギー起源	36,523	25,767	24,654	23,627	98.3%
非エネルギー起源	446	403	408	398	1.7%
下水処理	431	391	395	386	1.6%
公用車	15	12	13	12	0.05%
計	36,968	26,170	25,062	24,025	100%

エネルギー起源CO₂ : 電気、灯油やガソリンなどのエネルギーの使用により発生するCO₂

非エネルギー起源CO₂ (下水処理) : 下水処理に伴い発生したメタン、一酸化二窒素をCO₂換算した値

非エネルギー起源CO₂ (公用車) : 車両の走行距離から算出したメタン、一酸化二窒素、および、カーエアコンから排出されるハイドロフルオロカーボンをCO₂換算した値



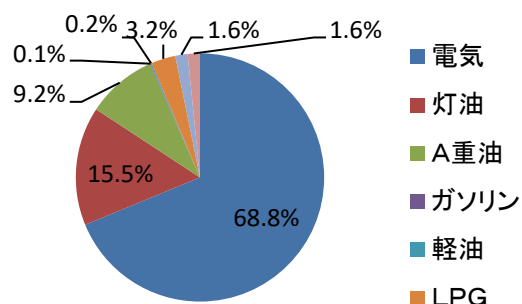
③ 排出要因別温室効果ガス排出量

排出要因別の温室効果ガス排出量の割合は電気 68.8%、灯油 15.5%、A重油 9.2%、その他の要因はそれぞれ 0.8%~3.2%以下となっており、すべての年度において割合の傾向は同じでした。

排出要因別温室効果ガス排出量(t-CO₂)

排出要因	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	割合(%)	基準年度比(%)
	基準年度											
電気	26,831	25,243	24,663	23,025	21,573	19,522	18,085	17,931	16,815	16,523	68.8	△ 38.4
灯油	5,437	5,338	5,256	5,057	4,930	4,714	4,550	4,495	4,889	3,716	15.5	△ 31.7
A重油	3,013	2,354	2,226	2,223	2,381	2,236	2,107	2,242	1,806	2,201	9.2	△ 26.9
ガソリン	16	14	14	19	13	10	9	10	13	20	0.1	25.0
軽油	37	35	36	40	37	36	31	37	34	38	0.2	2.7
LPG	762	850	686	699	782	676	700	688	745	759	3.2	△ 0.4
下水処理	431	448	450	447	444	422	413	391	395	386	1.6	△ 10.4
公用車	439	506	503	408	474	447	391	377	365	382	1.6	△ 13.0
計	36,966	34,788	33,834	31,918	30,634	28,062	26,286	26,170	25,062	24,025	100.0	△ 35.0

排出要因別 温室効果ガス排出量割合(%)



(2022年度)

④ 部局別 温室効果ガス排出量

温室効果ガスの排出量が多い部局は、病院、建設部、市民生活部※、教育委員会、産業部、企画振興部、総務部、健康福祉部、消防本部の順であり、市民生活部以外は、基準年度とほぼ同じ傾向であった。

※ななかりサイクルセンター（新施設）の試運転（ごみ処理）に伴うCO2排出は含まない。

部局別 温室効果ガス排出量推移(t-CO2)

	2013年度	2013年度	2020年	2021年度(R3)	2022年度(R4)	
	基準年度	※R4部局で整理	※R4部局で整理	※R4部局で整理		基準年度比(%)
総務部	2,311	1,556	812	735	769	△ 50.6
企画振興部	—	1,112	1,262	1,333	1,305	17.4
市民生活部	8,809	8,346	5,652	5,951	4,308	△ 48.4
健康福祉部	1,681	1,550	949	921	727	△ 53.1
産業部	3,504	3,504	2,353	2,141	2,236	△ 36.2
建設部	8,027	8,027	4,873	4,432	4,549	△ 43.3
消防本部	450	449	391	348	350	△ 22.0
教育委員会	4,742	4,981	3,777	3,790	3,881	△ 22.1
病院	7,004	7,004	5,724	5,045	5,517	△ 21.2
公用車	439	439	377	365	382	△ 13.0
計	36,968	36,968	26,170	25,062	24,025	△ 35.0
基準年度比	—	—	△ 29.2	△ 32.2	△ 35.0	

⑤ 公用車からの温室効果ガス排出量

公用車からの温室効果ガス排出量は基準年度比で約△13.0%の削減でした。

公用車からの温室効果ガス排出量(t-CO2)

		2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		基準年度				基準年度比(%)
稼働台数 台	ガソリン車	148	120	109	103	△ 30.4
	ディーゼル車	84	62	48	46	△ 45.2
	計	232	182	157	149	△ 35.8
走行距離 km	ガソリン車	923,788	793,614	763,458	798,045	△ 13.6
	ディーゼル車	575,761	413,530	443,603	441,944	△ 23.2
	計	1,499,549	1,207,144	1,207,061	1,239,989	△ 17.3
燃料 ℓ	ガソリン車	82,303	81,255	76,342	81,089	△ 1.5
	ディーゼル車	90,648	68,541	67,951	70,532	△ 22.2
	計	172,951	149,796	144,293	151,621	△ 12.3
CO2排出量 t-CO2	ガソリン車	201	197	185	196	△ 2.5
	ディーゼル車	238	180	180	186	△ 21.8
	計	439	377	365	382	△ 13.0
燃費 km/ℓ	ガソリン車	11.22	9.77	10.0	9.84	△ 12.3
	ディーゼル車	6.35	6.03	6.53	6.27	△ 1.3
	計	8.67	8.06	8.37	8.18	△ 5.7
CO2排出割 合 kg-CO2/km	ガソリン車	0.22	0.25	0.24	0.25	13.6
	ディーゼル車	0.41	0.44	0.41	0.42	2.4
	計	0.29	0.31	0.30	0.31	6.9